

災害ボランティア基礎 知識

赤十字のボランティアとして



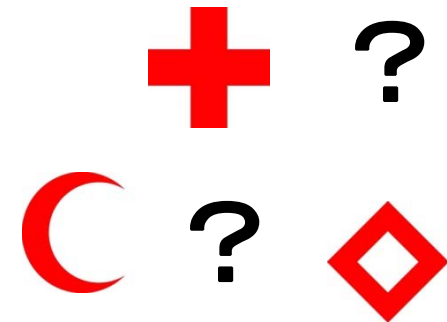
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

兵庫県支部
防災ボランティアリーダー
赤十字活動指導講師
赤十字防災教育事業指導者
赤十字救急法指導員
赤十字幼児安全法指導員

中島 健治

赤十字についてどんな
ことをご存知ですか？

- 「赤十字」の名前はみんな知っている
「日本赤十字社」の認知度 98.9%
- 「赤十字」が何なのか、何をしているかは、
あまり良く知られていない・・・
 - イメージ ⇒ 献血、病院、人道・・・
 - 国の機関？ 外郭団体？



ジュネーブ条約

第四十七条〔条約の普及〕

締約国は、この条約の原則を**自国のすべての住民**、特に、戦闘部隊、衛生要員及び宗教要員に知らせるため、**平時であると戦時であるかを問わず、自国においてこの条約の本文をできる限り普及させること、特に、軍事教育及びできれば非軍事教育の課目中にこの条約の研究を含ませることを約束する。**

日本赤十字社の活動

■ 災害救護活動

災害現場での
医療救護や救援物資の配布。



赤十字活動は、みなさまからいただいた
活動資金で支えられています。

■ 赤十字講習

病気やけがの予防と
とっさの時の手当など、
健康で安全な生活。



■ 国際活動

世界中の紛争や
災害の被災者に支援の手を。



■ 医療事業

地域医療への貢献。
災害などに備えて医師、
看護師を訓練。



■ 血液事業

あなたからの
温かい贈りもの、献血。



■ 看護師等の養成

救護や医療にあたる
看護師などを養成。



■ 赤十字ボランティア

赤十字を支え合う
ボランティア。助け合う心。



■ 青少年赤十字

学校を通じて
いのちと健康を大切にする
意識や思いやりの心を育成。



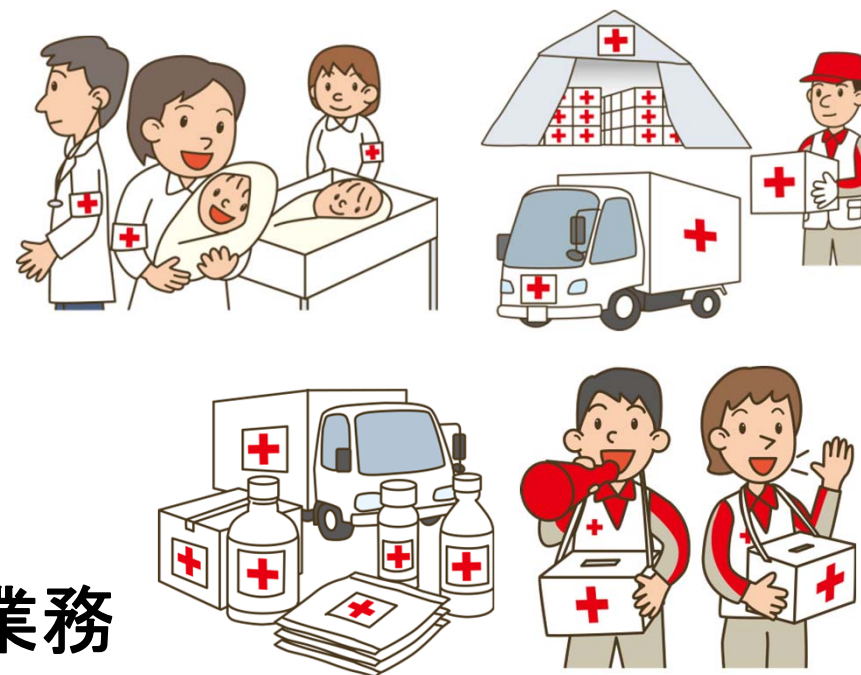
■ 社会福祉

こどもやお年寄り、
障害のある人のための
社会福祉施設の運営。



国内災害救護活動

- 医療救護
- 救援物資の備蓄と配分
- 災害時の血液製剤の供給
- 義援金の受付と配分
- その他災害救護に必要な業務



**発災後、人々のいのちを守り、
苦痛を軽減することに貢献しています**

国内災害救護活動(兵庫県支部)

- ・石巻(東日本大震災)
- ・熊本県地震
- ・鳥取県
- ・広島県
- ・大阪北部地震
- ・岡山 真備町

日本赤十字社の防災への取り組み

- 自分自身と家族のいのちを守る（自助）
- 自分自身と家族の安全が確保できたら、率先して他の人を助ける等、地域の安全に貢献する（共助）



**地域に住む一人ひとりが
「自助」「共助」の力を高める
お手伝いをする**

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

私たちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの原則に従って行動します。

人道：人間の命と健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。

公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。

中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。

独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。

奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。

単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。

世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

人道



国際赤十字・赤新月運動(以下、赤十字・赤新月)は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力、および堅固な平和を助長する。

公平



赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月はただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合もつとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

中立



すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

独立



赤十字・赤新月は独立である。各国の赤十字社、赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉仕



赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

単一



いかなる国にもただ一つの赤十字社あるいは赤新月社しかありえない。赤十字社、赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行なわなければならない。

世界性



赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社、赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

阪神淡路大震災

- 自分自身手術直後
- その朝にしたこと
- 安否確認できないことへの思い
- その後したこと



- ・ 自転車ですぐ当時県庁の南にあった支部へ
寝袋と生ものを持って支部へ
- ・ 通常業務のお手伝い
- ・ 日をおいてボランティアをするため神戸へ
- ・ オフロードバイクで病院へ薬剤配達

当時はまだ防災ボランティアは組織されていなかった。

台風23号による豊岡水害



兵庫県台風第9号災害に伴う防災ボランティアの活動



東日本大震災

- 現職最後の年
- コンピュータを使い仕事をしていて異常を感じた→すぐにテレビをつけた
- 現職として本社ボランティアセンターの設置に参加
- 次の職場の夏休みに一週間陸前高田を中心としてボランティア参加



ボランティアネットワーク 遠野

- 陸前高田ボランティアセンター
- 大槌ボランティアセンター
- 釜石ボランティアセンター
- 赤十字は遠野にボランティアセンターをおいた

































あなたがボランティア
をするのはなぜです
か。

日本赤十字社とボランティア

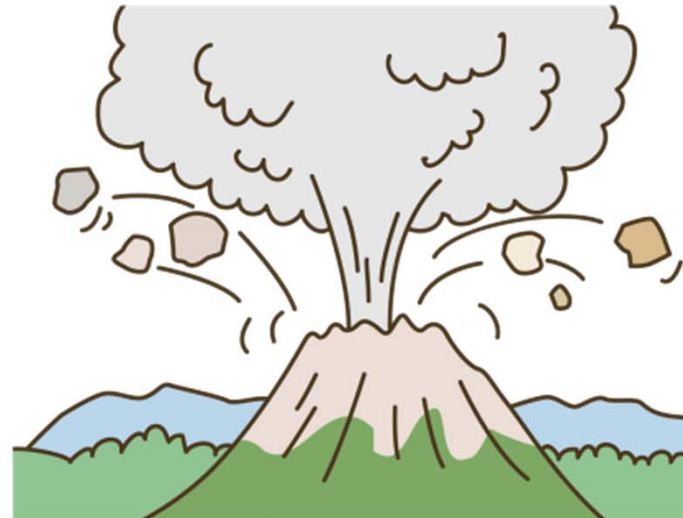
- 医療及び助産
 - 死体の処理
 - 避難所などでの炊き出し
 - 救援物資の備蓄、輸送、配分
 - 血液製剤の輸送、供給
 - 安否調査
 - 義援金の受付
- ボランティアセンターの運営
情報の収集、連絡
被災者のニーズに応じた活動

防災ボランティアの訓練でしていること

- 大釜での炊き出し
- テント設営訓練
- ロープワーク
- 無線通信訓練
- 救急法
- ボランティアセンター運営

いのちを脅かす様々な事象(災害)

地震、津波、豪雨、洪水、がけ崩れ、
竜巻、豪雪、噴火、大規模な火事 等



災害とは

自然現象や人為的原因によって、
人間の社会生活や人命に受ける
被害。

過去の事例を超える事態への対応

- 今後発生が予測される大規模災害

南海トラフ地震

首都直下地震



- 気候の変化による風水害の増加

局地的豪雨の頻発

巨大な台風の増加



私たち自身が考え、行動することが重要

防災

- 災害を防止すること
 - ・ 人為的原因は防止できる可能性が高い
 - ・ 自然現象は防止できないことが多い災害が起こるたびに想定外といわれる

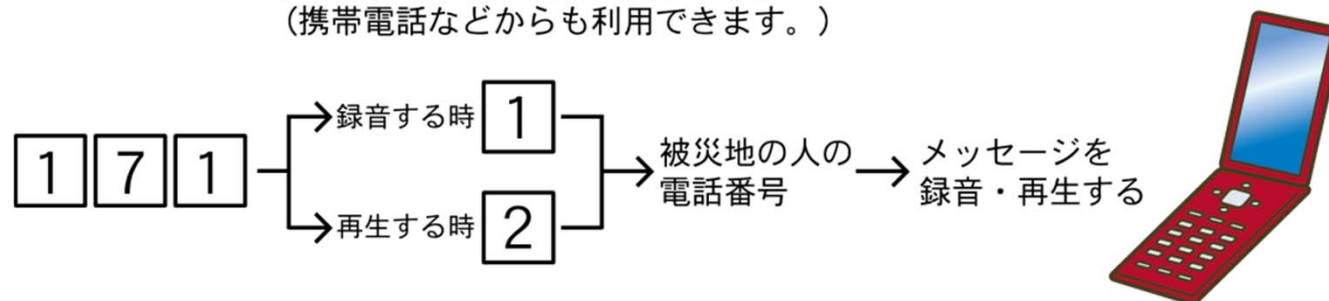
家族や知人の安否確認

災害時、電話は通話規制が行われます。家族や知人等とは災害時の連絡方法を予め決めておきましょう。



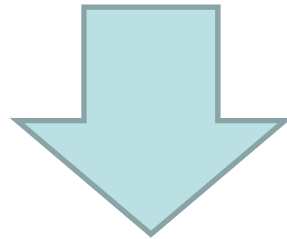
災害用ダイヤル「171」の使い方

「171」に電話をかけ、ガイダンスにしたがって必要事項を入力します。
(携帯電話などからも利用できます。)



これまでの日常とは全く異なる生活

- 住家・家財に大きな被害
- 水道・電気・ガス(ライフライン)が停止
- 不自由な避難生活



皆で協力し、助け合うことが大切

隣近所等との日頃のお付き合い

災害などの非常時に助け合うこ
とができる共助の「核」

1週間水が出なくて洗濯がたいへんだったが、近所の人
が「実家は水が出た」といって洗濯機で洗ってくれた。
(平成19年新潟県中越沖地震)

断水している地域には水を配りながら安否確認をした。
孤立感が深まる中、自分たちのことを認識してくれてい
ることが大きな安堵感に繋がったのでは。
(平成22年山陰地方の大雪)

東日本大震災 （福島県新地町の社協職員の体験談）

- ・ 地域の炊き出し班長との使命感があったので、自宅は地震でメチャメチャだったが炊き出しを決行した。
- ・ 道具も材料もなかったが、誰ともなく協力者が現れた。
- ・ 1日目は避難所分の炊き出しを、2日目以降は大目につけて自宅にいる人達にも届けた。配達は集落ごとに担当してもらった。
- ・ 防災訓練などの日頃の活動を通じ、「この人だったらこついつことができるのではないか」となんとなく把握しておいたのが良かったのかもしれない。
- ・ 地域の人たちに譲り合いや助け合いの気持ちがあったことが一番の幸이었다。

災害時におけるリーダーの必要性

災害は

発生直後から状況が様々に変化する



状況の変化に応じ、ニーズが変わる

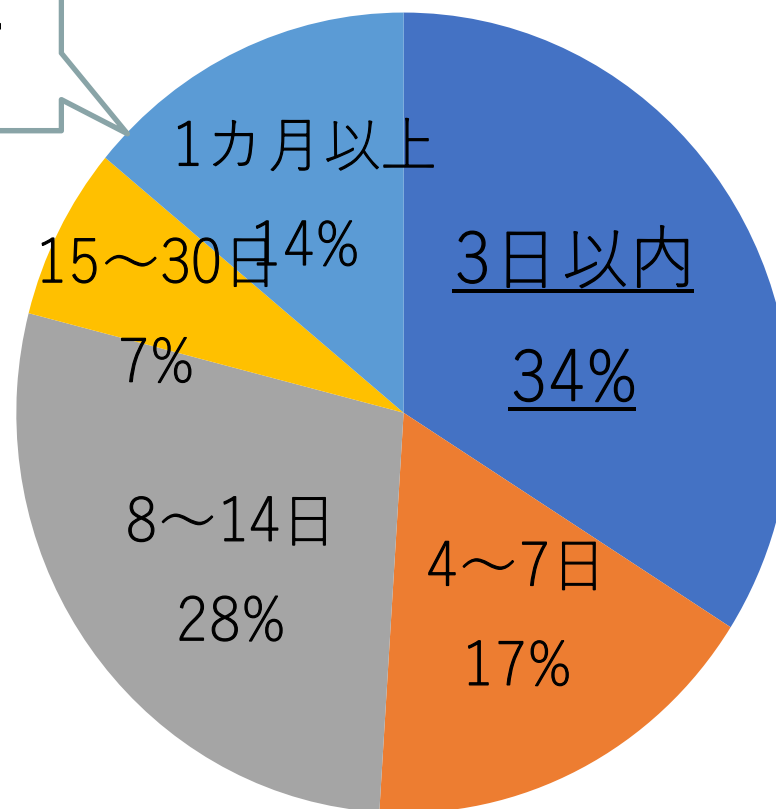
時間の経過と共に、公的機関・市民団体等の
支援活動が始まり、様々な調整が必要
になる

**リーダーに協力する、
あるいはリーダーになる**

無くて困ったもの

仮設トイレが被災地の避難所に行き渡るまでに要した日数(東日本大震災)

最も日数を要した
自治体は65日



東日本大震災 (宮城県気仙沼市職員の被災体験)

市民会館に避難してきた650人ぐらいの人への対応に当たった

- ・ 3月11日は1人乾パン5個。追加の食糧支援がいつ来るかわからない。
- ・ 2日目はおにぎり半分に乾パン。不足分は栄養補助食品で補った。夕方になり、市役所からやっとおにぎり500個が配達。
- ・ 3月17日(1週間後)頃からパン会社が毎日菓子パンを届けてくれた。ありがたかった。

暮らしをつなぐために

1 自分にしかできないことは自分で備える

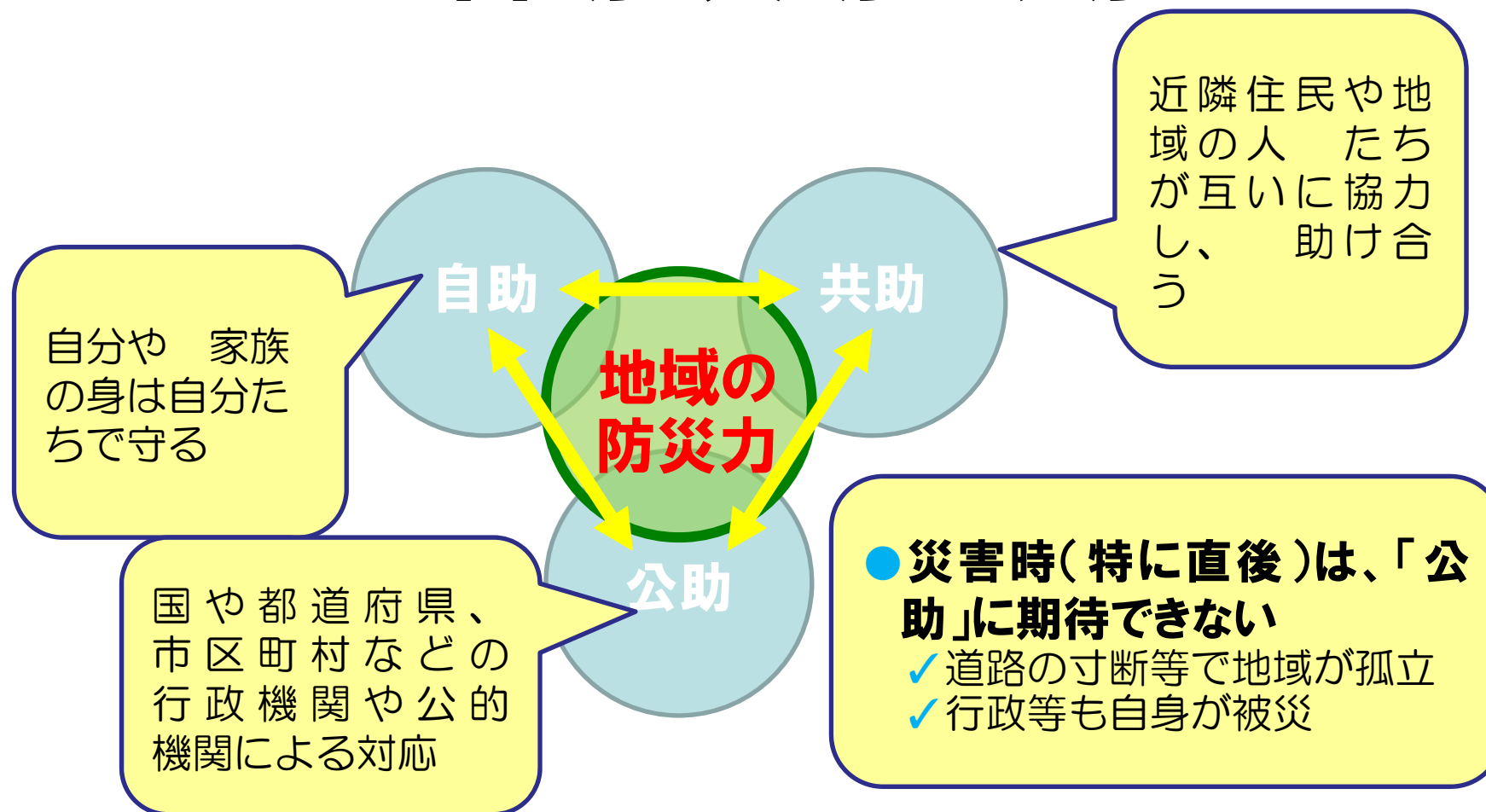
- 無ければ生活に支障がでるものを準備

2 自分だけでは成り立たない暮らしを 皆で助け合う

- 隣近所の人たちとの関係
- リーダーの役割



自助・共助・公助



災害に備えるために 「自助」の力を高める

= いのちを守り、暮らしをつなぐ備え
を実行する

「共助」の力を高める

= 人を知る

災害からいのちを守る基盤

特に赤十字のボランティアとして

- 安全法などの技術を
- 日常からの訓練

いりません！ 迷惑ボランティア

- 突然来てすぐ帰るボランティア（無計画に活動する）
- 出しゃばりボランティア（責任者を無視）
- 指示待ちボランティア
- 自己完結できないできないボランティア

被災地に行ってから自分たちの宿泊場所や食料の調達を行う

赤十字防災ボランティアとして

- ・発電機
- ・無線機
- ・車(ランドクルーザー)
- ・ガソリン携行缶(20L)
- ・非常食(水でも調理できるもの)
- ・カセットコンロ
- ・簡易防寒具
- ・乾電池(充電、非充電)
- ・水

赤十字防災ボランティアとして

出かけていく時に必要なもの

水 1日3L 食料 薬(常備薬)

ロープ

服装(靴が重要) 手袋 ヘルメット

その他 ソーラーパネル 大容量電池

車中泊セット

ごみは持ち帰る



お　わ　り

ご清聴ありがとうございました。